



令和8年8月24日(月)発行



比べるよりも、本質を。

主幹教諭

今年の夏休みは、充実していたでしょうか。

今の時代、SNSを開けば、誰かの最高の夏休みが目に入ってきます。旅行先の美しい景色、家族や友達との楽しそうな写真、夏祭りや花火、特別な体験。そこに切り取られているのは、その人にとっての素敵な瞬間です。そんな最高の瞬間をたくさん目にしていると、いつの間にか比べてしまうことがあります。「こんなことしたかったな」。大人目線だと、「こんな場所に連れて行ってあげたかったな」と。

けれど、何かと比べずに考えてみると、それは誰かに自慢できたり、どこかに写真を発信するほどではなかった時間の中にも価値があるものです。それは家族や友達との何気ない会話かもしれないし、思いがけず心震えた小さな出来事かもしれません。大切なのはどれだけ華やかだったかではなく、子どもたちがその時間をどう過ごし、何を感じたかです。

私はこの夏休み、生徒会事務局3名と「さっぽろっ子サミット」に参加してきました。そこでは、市内全中学校から代表生徒たちが集まり、学校や地域をよりよくするため、自分たちにできることを話し合う機会がありました。そこで改めて感じたのは、他と比べて大きなことをするのではなく、何のために、何を大切にするのかを考えて取り組むことに価値があるということです。このサミットに向けた活動として、本校では事前に「伝わる挨拶に必要なこと」について全校アンケートを実施し、パートナー校である栄東小、栄北小、栄緑小と「自分たちはどんな挨拶を大切にしたいのか」について児童生徒交流を実施しました。同じ地域に住む児童と生徒が共に考え、今後の小中合同あいさつ交流(通称おはプロ)に繋げていこうとしています。ここにも「何を大切にしたいのか」の本質を考える姿があります。



さっぽろっ子サミットの様子

2学期には学校祭があります。学校祭も「他クラスより凄いもの作る」ではなく、「自分たちはどんな学校祭にしたいのか」「何を大切にしたいのか」を考えるとところから始まります。子どもたちは、プロの演劇集団でも、アーティスト集団でもありません。それぞれに得意不得意があるなかでアイデアを持ち寄り、自分にできることを考え、支え合いながら作品作りに挑む。その先には、目に見える形だけではない、見えない価値が作られていくはずです。

比べるよりも、本質を。そんな2学期になることを願っています。今後とも本校の教育活動への御理解と御協力を、よろしくお願い致します。

ALT(外国語指導助手)の配置について

本校では、英語科の授業充実のため、ALTによる指導を行っていますが、2学期から担当ALTが変更となりました。これまで授業を担当していた先生は任期満了に伴い退任し、2学期より新たな先生が着任いたします。子どもたちが英語に親しみ、安心して話してみようと思えるような雰囲気づくりを大切にされている先生で、明るく温かい人柄で、英語を使う楽しさを広げてくださいます。

子どもたちが、新しいALTとの学びを通して、英語で「伝える力」をさらに伸ばせるよう、学校としても引き続き環境づくりに努めてまいります。今後とも、本校の英語教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

■2学期をはじめるにあたり

僕は、この夏休みで成長した点が、主に3つあります。1つ目は、仲間と協力して行動する力です。僕は、野球部の一員として、帯広で開催された全道大会に行ってきました。結果は準決勝敗退という結果に終わってしまいましたが、移動で使ったJRや宿泊させていただいたホテル、試合会場での行動など、野球の試合以外にも、次はどんな行動をしないといけないかなどを予測して、他の人に声をかけて動くようにすることを意識しました。2つ目は、自己管理をする力です。3年生が抜けて新チームになりましたが、自分はもともと不安定だった脚の故障もあり、野球をプレーする時間が大きく減ってしまいました。ただ、11人しかいない新チームでは、怪我をただけで、チームに大きな迷惑がかかってしまいます。そこで、ストレッチをしたり、故障した部分を冷やしたりすることで、少しは良くなったと思います。3つ目は、計画して勉強する力です。今年は、毎日少しでも宿題を進めるということを目標にして、お盆前には宿題を終わらせることができました。改めて、毎日継続して何かをすることの大切さを学びました。

僕は、この夏休みの成長から、2学期は「周りから応援される人」を目指したいと思っています。部活や勉強に自分が打ち込むことができているのは、いつも支えてくれている両親、学校生活を支えてくださる先生方、仲良くしてくれる友達など、たくさんの人が自分を支えてくれています。2学期もそういった人たちへの感謝を忘れずに、他の人と比べるのではなく、昨日の自分と比べて、日々成長していきたいと思っています。

(始業式生徒代表挨拶から)

■中体連全道大会の結果（陸上競技部・野球部・ソフトテニス部・ソフトボール部）

夏休みの期間、本校の生徒たちは、各地で開催された中体連全道大会に出場し、力強い姿を見せてくれました。陸上競技部では、110mハードルと四種競技に出場しました。110mハードルでは準決勝に進出し14位、四種競技では全種目で自己ベストを更新し、総合22位という結果でした。最後まで懸命に競技に向かう姿が光りました。野球部は、初戦で羽幌地区代表と対戦し、打線がつながり11対9で勝利しました。続く準々決勝では、十勝地区代表との対戦となり、粘り強く守る展開を見せましたが、4対10で敗戦となりました。ソフトテニス部は男子団体戦で、1回戦、2回戦を順調に勝ち上がり、3回戦で岩見沢市立光陵中と対戦しました。惜しくも0-2で敗れ、ベスト8という結果となりました。また男子個人戦では2ペアが出場し、3回戦進出でベスト16、2回戦進出でベスト32と健闘しました。ソフトボール部は全道大会で快進撃をみせ、決勝戦まで勝ち進み、準優勝となりました。この成果により、岡山倉敷市で開催される全国大会への出場を決め、夏の努力が大きな実りとなりました。全国大会では、1回戦で鹿児島代表と対戦し、0対6で敗戦となりましたが、最後まで粘り強く戦う姿が印象的でした。

生徒たちが懸命に競技へ向かう姿に、多くの感動をもらいました。なお、遠征にあたり、保護者の皆様や地域の方々より協賛金のご支援をいただきました。生徒たちの挑戦を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。

■教育実習生の受け入れについて

本日から、教育実習生5名が来校し、3週間・4週間の期間で実習を行います。授業見学や教材研究、学級活動の補助、部活動の見学など様々な場面で子どもたちと関わりながら、教員としての学びを深めていきます。また、教員の指導のもと、授業を担当し、少しずつ実践力を育んでいきます。

実習期間は、9月11日までの3週間が2名、9月18日までの4週間が3名です。校内で生徒と接する場面もありますが、安全に配慮しながら取り組みますのでご安心ください。

教育実習は、未来の先生を育てる大切な機会であり、子どもたちにとっても新しい出会いや学びにつながります。温かく迎え入れ、共に充実した時間となるよう支えていきたいと思っています。

■■ 8・9月の主な行事予定 ■■

8月24日(月)	2学期始業式・教育実習開始	9月11日(金)	8組個人懇談①・教育実習(社・体)終了
27日(木)	学校祭PJ長会議	14日(月)	8組個人懇談②・体力向上週間(3年)
28日(金)	立候補者・責任者説明会	15日(火)	8組個人懇談③・体力向上週間(2年)
9月 1日(火)	音響・照明講習会	16日(水)	8組個人懇談④・体力向上週間(1年)
2日(水)	全校協議会	17日(木)	8組個人懇談⑤
4日(金)	職員会議・3年卒アル写真撮影・PTA役員会	18日(金)	教育実習(数・理・英)終了
7日(月)	委員会・局会・学年協・選挙管理委員会	25日(金)	3年得点通知表配付
10日(木)	3年学力テストA	30日(水)	学校祭【学校公開日】